

会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称
丹波篠山市立今田幼稚園・今田保育園在り方検討委員会
- 2 開催日時
令和4年4月28日（木） 19時00分から21時30分まで
- 3 開催場所
今田まちづくりセンター 集会室
- 4 会議に出席した者の氏名
委員長 酒井隆明
副委員長 丹後政俊、大前通代
委員 小澤裕也、小田和也、大西和夫、長谷川正、松本良子、横内里絵、上田勲、
藤森美香、婦木佑季、野々口竜己、谷掛晴子、竹中富士子、市野達也、
橋元工
オブザーバー 大上和則
事務局 丹波篠山市教育委員会事務局こども未来部長 稲山悟、こども未来部次長兼
保育教育課長 西嶋睦美、市民生活部地域振興課長（今田地区振興担当）森
本康幸、子育て企画課長 竹見朋子、子育て企画課長補佐兼子育て企画係長
山鳥有史、保育教育課長補佐 森田育樹
- 5 傍聴人の数
0名
- 6 議題及び会議の公開・非公開の別
全て公開
- 7 非公開の理由
該当なし
- 8 会議資料の名称
第1回丹波篠山市立今田幼稚園・今田保育園在り方検討委員会資料

9 会議次第

- (1) 開会
- (2) 委嘱状の交付
- (3) 市長あいさつ
- (4) 自己紹介
- (5) 協議事項
 - ア 副委員長の選出について
 - イ 会議の公開に係る会議録の発言者の表記方法について
 - ウ 今田幼稚園・今田保育園の在り方検討にかかる経過報告について
 - エ 意見交換
 - (ア) 今田幼稚園・今田保育園の在り方について
 - (イ) その他
- (6) その他
- (7) 次回の開催日
- (8) 閉会

10 協議の概要

- (1) 副委員長の選出について
委員の互選により、大前通代委員が副会長に選出された。
- (2) 会議の公開に係る会議録の発言者の表記方法について
「委員」のみの表記とすることとした。
- (3) 今田幼稚園・今田保育園の在り方検討にかかる経過報告について
事務局から資料により説明
- (4) 意見交換

(委員長)

今田幼稚園・今田保育園が土砂災害警戒区域等にある状況に加え、老朽化が進んでいることから、市としては早期解決を図るため、今田地区の皆さんで今田のこども園のことについて考えていくことがよいと考えていたが、懇談会において、古市地区の方の意見も踏まえながら考えていくべきであるとの意見をいただいた。

ついで、本日の検討会において、はじめに「今田地区として、今田こども園のことを考えていくのか」または「古市地区の方とともに両地域のこととして考えていくのか」について方向性を確認したい。

(委員)

令和3年度に実施された懇談会において、古市のことも考えて進めるようにと口酸っぱく言ってきた。今田地区の者だけで決めていくと古市地区の方から勝手に決めたとおぼろげに思われる。保護者会の中で意見を確認すると聞いていたが、古市地区の方々の意向はどうだった

のか。

(事務局)

今田保育園保護者会で実施されたアンケート結果によると、こども園化することについては、古市・今田地区の方を含めて賛成であり、早期に対応してほしいとの意見が大勢であった。ただし、古市地区全体としての意見はどうかということは、教育委員会としては把握していない。

(委員)

保護者へのアンケートについては、今田幼稚園、今田保育園それぞれの保護者会で実施いただいた。今田保育園については、古市地区から通われている方もおられるので、古市地区の方のことも考えて検討した方が良いとの意見もあった。

(委員長)

古市地区の方のことを慮って進めていくほうが良いとのことであればそうしていきたい。ただし、そうした場合は、今田と古市の方が対等に話し合いをすることになるため、今田で決めたことを古市の方にどうですかということにはならない。話し合いに時間がかかると考える。

(委員)

現在の両園の場所は、イエローゾーンやレッドゾーンにあるため、一刻も早く対策することが求められると思う。

(委員)

古市と一緒にこども園をつくるとなると、越えなければならない壁があるため時間を要すると思うが、通常何年くらい時間を費やすのか。10年先となるのであれば安全面から心配する。

(委員長)

何年かかるのかは申し上げにくいですが、地域を超えて考えていくとなると、場所の選定から名称の決定など、調整に多くの時間が必要になると考える。

(委員)

保育園には通園区域は設定されていないのか。

(事務局)

保育園・こども園の0歳から3歳児までは通園区域の設定はない。市外の園にも入ることができる。4, 5歳児については、丹波篠山市においては、地域密着型、幼・小連携の観点から、園区を設けている。ただし、特例として味間地区在住の4, 5歳児については、味間こども園以外の幼稚園にも入ることができる。

(委員)

他市では、4, 5歳児においても通園区域の設定はない。

(委員)

丹波篠山市に引っ越してきて驚いたのが4, 5歳児に園区の設定があることだった。地域

密着型の幼稚園運営を考えているとは思いますが、こども園の場合、4歳から別の幼稚園に行くことになると、子どもは新たな環境に慣れなければならず、負担になる。子どものことを考えるのならば、園区をなくし区域関係なく選択できるよう幅を広げていただきたいと思う。

(事務局)

教育委員会としては、幼稚園から小学校への接続がスムーズに行くように、現在のところは園区を設けている。先ほどの意見もごもっともだが、見直した場合、様々な影響が出てくると考えるため、慎重に検討していく必要がある。ただし、古市については、味間と同様に特例で今田に行くことができるようにすることは可能であるが、検討に当たっては、学校教育との調整も必要になるため、教育委員会の中で検討していきたいと思う。

(事務局)

古市地区の方について、古市幼稚園と今田こども園いずれかを選択できるようにした場合、選択の自由度が高まるというメリットがある一方、古市の方の多くが今田こども園を選択された場合、古市幼稚園の人数が少なくなる。そうなった場合、4、5歳児が複式学級になることも考えられる。また、市内すべてで園区をなくした場合についても、地域によっては園児数が減少する幼稚園が出てくる可能性があり、適正配置について検討せざるを得ない時期が来るかもしれない。

(委員)

今田の子どもたちについては、今田幼稚園、今田保育園をこども園とした場合、場所が変わるくらいで、これまでと同じように保育・教育を受けられると認識する。また、古市の子どもたちについては、園区の見直しにより選択の幅を広げるなど、教育委員会で対策を検討するという事なので、今田幼稚園、今田保育園をこども園化することについては、賛成である。

(委員長)

今田地区にこども園をつくることは、古市のことを考えないということではなく、古市地区は古市幼稚園の幼稚園教育をきっちりしていくことになる。

それでは、本検討委員会の方向としては、今田地区でのこども園の設置を検討していくということでしょうか。

(委員)

異議なし。

(委員長)

次に、こども園の具体的な場所を決めていきたいと思うが、検討委員会で決定した場所が直ちに設置場所になるものではない。設置場所については、議会での承認、土地の確保、予算確保など様々な条件が必要となるため、その通りにならない場合もある旨理解願う。

それでは、場所について絞っていききたいと思う。

(委員)

候補地については、市の土地に限定せずに民有地についても候補に挙げるべきと考える。

また、選定にあたっては、「環境」「利便性」「費用面」「工期」について比較する必要があることから、次回の会議において比較表の提出を求める。

(委員長)

委員の中で、民有地で取得しやすい、建設しやすい候補地があるのであれば事務局まで連絡願う。

(委員)

場所の選定にあたっては、イエローゾーン、レッドゾーンを外して考えるべきである。

(委員)

場所選定にあたっては、イエローゾーンを外さなければ意味がないと考える。また、選定にあたっては「保護者の安全な送迎」も視野に入れなければならないと考える。さらにイベント時の影響を受けるかどうかも考えなければならないと考える。

(委員長)

A案からI案のうち、イエローゾーン、レッドゾーンから外れている案は、B案・G案・H案・I案の4案とイエローゾーンの境界にあるD案で、うちB案は今田まちづくりセンターを使用する案となっており、地域の方が利用する施設のため、現実的ではない。よってD案・G案・H案・I案の4案となる。この4案について、工事費用や工期についてさらに検討していく。加えて、ほかに考えられる場所があれば提案願う。

(委員)

育苗センターの土地についてはどうか。

(事務局)

現地を確認したところ、土地面積が狭く、不向きであった。面積は少なくとも3,500㎡以上で理想は5,000㎡以上と考える。

(委員)

育苗センターの土地は国道沿いのため、安全が確保できない。

(委員)

今田地区の文教の拠点をどこに持っていくべきかを考える必要がある。小学校、中学校が近くにあって、こども園だけが離れた場所になるのはどうかと思う。

また、今回のこども園の設置は、今田地区が勝手にこども園の設置を求めているものではなく、現在の園では安全面に課題があり、緊急に取り組む必要があることから検討しているものである。

(委員)

今後、予習をして会議に望みたいと考える。

(事務局)

今後、会議前に資料を配付するようにしていく。

(委員)

こども園の検討にあたって、立地条件だけでなく今田の教育をどのように発展させていく

か、教育内容についても話し合いができる会議になればよいと考える。

(委員)

小学校、中学校、こども園の連携の中、「今田で子育てがしたい」と思っていた教育を展開していきたい。

(委員)

現在、子どもたちは危険な場所で保育を受けている。子どもたちや保護者の方が安心できる園になればと思う。

(委員長)

こども園の設置にあたっては、子どもたちの未来につながるものになるよう、心して取り組んでいく。また、場所の選定だけでなく、施設の内容についてもご意見をいただければと思う。

(5) その他

なし

(6) 次回の開催日

日時 令和4年5月25日(水)午後7時00分～

場所 今田まちづくりセンター(集会室)

内容 ①D案・G案・H案・I案の比較及び詳細確認等について
②委員からの提案による他に考えられる場所について

11 閉会

丹後副委員長あいさつ